

(別紙)

鹿児島県飼料作物奨励品種一覧（令和4年3月31日現在）

種類名	品種名	対象地域	品種特性	備考
ソルガム	SX11（スタックス）	県一円	茎はやや細く、茎葉収量及び総乾物収量はソルゴー型にやや劣るものの多収。分けつ力、再生力が強く、初期伸長性及び低温伸長性に優れるため、気象条件の不安定な地域でその特性を發揮する。青刈りに適し、草丈が伸びすぎると、木質化が進み、嗜好性が低下。	—
	SG-1A（甘味ソルゴー）	県一円	茎が太く、一般に糖含量が多い。茎葉収量及び総乾物収量はソルガム類で最も多い。分けつ力は弱い、再生力の強いものが多い。	—
	JG-S9（ハニーソルゴー）	県一円	サイレージ、青刈りに適する。	—
スーダングラス	HSK-I（ヘイスーダン）	県一円	茎は細く、ソルガム類に比べて葉幅が狭い。一般に茎葉収量及び総乾物収量はスーダン型ソルガムに比べやや劣るものの多収。分けつ力、再生力は強い。耐病性はスーダン型ソルガムに劣る。茎が細いため、ラップサイレージ調製に適し、乾草調製も可能である。出穂期以降は、木質化が進み、嗜好性が落ちる。	—
トウモロコシ	TX1162	県一円	春播き用品種でRMは120。初期生育が良好で、収量の年次変動が少なく安定。耐病害性は「ゆめそだち」と同程度である。ごま葉枯病に抵抗性を持つ。	—
	ゆめそだち	県一円	乾雌穂重割合が高く多収。耐倒伏性は強～極強で、ごま葉枯病に強い。春播き（一期作）の選播きにも適する。	—
	P3577	県一円	乾物収量は高く、特に茎葉収量割合が高いことから、肉用牛繁殖経営向き。台風被害が想定される場合は早期収穫も場合によっては必要。RMは135で、南方さび病抵抗性も高いことからイタリアン収穫後の選播用品種として適している。	—
	PI2008（スノーデントおとは）	県一円	多収で、耐倒伏性が強い。南方サビ病に強い。幅広い播種期間に対応でき、春播き（一期作）の選播き及び夏播きにも適する。	—
ローズグラス	カタンボラ	県一円	ほ伏型の品種で、茎葉は細くて長い。耐湿性に比較的優れ、耐干性は高いが、著しい干ばつ時には減収。また、軽い霜には耐性を示し、耐塩性にも優れる。土壌条件に対しても適応範囲は広いが、肥沃地を好む。	—
	リョクフウ	県一円	一年利用、多年利用のいずれの作型でも多収で、一年利用では初期伸長性に優れ、特に一番草は多収。	—
ギニアグラス	うーまく	県一円	同じ暖地型牧草として県内で広く栽培されるローズグラスと比較して、耐倒伏性及び収量性に優れる。出穂期以降は粗剛になり、嗜好性及び消化率が急速に低下することから出穂前までに収穫する。極晩生で出穂が遅いことから収穫適期が長く、また、種子落下による雑草化リスクの低減が期待できる。	R4年3月 新規追加
グリーンパニック	ベトリ	県一円	早生で草丈は1.5m程度、細茎で細葉、葉色は淡緑色である。耐干性はローズグラスより強いが、多雨・過湿条件下では生育が停滞する。低温及び霜にはローズグラスほど強くない。また、耐陰性はあるとされている。青刈、乾草に適し、ラップサイレージも可能。	—
ネピアグラス	種子島在来種	南西諸島 及び県南 部沿岸地 帯	草丈は3m以上になり、世界で最高の収量をあげる牧草とされる。形状はサトウキビに似ている。多年生で軽い霜には耐性がある。耐倒伏性、再生力は強く、条件が良ければ年5～6回の刈り取りで20～30t/10aの生草収量が期待できる。霜には弱い。青刈りに適する。	—
	大島在来種		—	
	メルケロン		—	
カンショ	シロユタカ	県一円	穀類と同様に濃厚飼料として利用できる。蛋白質は少ないが、デンプン質は多い。掘り取り後の茎葉も飼料として利用可能。栽培は容易であるが、収穫に労力を要する。	—
	シロサツマ	県一円	—	
	コガネセンガン	県一円	—	
イタリアンライグラス	タチワセ	県一円	草姿は直立型で、耐倒伏性に優れ、茎の割合がやや高く、乾物率はやや高い。水田裏利用に適する。	—
	ワセユタカ	県一円	低温伸長性に優れ、早春の利用に適する。やや長稈で倒伏しやすいため注意が必要。残根量は比較的少ないため水田裏利用に適する。	—
	ワセアオバ	県一円	耐倒伏性はやや優れる。乾物率もやや高い。冠さび病にやや弱いいため、長期利用には適さない。残根量は比較的少ないため水田裏利用に適する。	—
	いなづま	県一円	草姿は直立型で、耐倒伏性に優れる早生品種。長稈で茎の太さは中。葉幅は広く、葉量が多く、乾物収量は安定。	—
	タチサカエ	県一円	サイレージ、青刈りのどちらにも適する中生の4倍体品種で、収量が多い。草型は立性で機械作業に適する。	—
	マンモスB	県一円	長期利用に適し、乾草、サイレージのどちらにも適する品種である。初期生育が遅いため、雑草との競合に注意する。4倍体品種。	—
	ナガハヒカリ	県一円	サイレージ、青刈り、乾草のいずれにも適する直立型の品種である。中生の4倍体品種で、収量が多い。耐倒伏性は高く、冠さび病抵抗性は中～強。	—
	エース	県一円	草地での長期利用に適する。茎が太く乾草調製には向かない。耐暑性に優れ、再生がよく、耐病性も高い。4倍体品種。	—
	ピックワン	県一円	サイレージ、青刈りのどちらにも適する晩生の4倍体品種で、葉幅が広く、収量が多い。冠さび病抵抗性は強。	—
	ヤヨイワセ	県一円	2倍体の極早生品種。草姿は直立型で、耐倒伏性・収量性に優れる。いもち病抵抗性を有する。早生品種、中・晩生品種との組み合わせによる収穫期分散が可能。	H31年3月 新規追加
エンバク	スーパーハヤテ集	県一円	晩夏播きにより安定した年内出穂が可能な極早生品種で、ホールクローブサイレージ利用が可能であるが、多回刈りには向かない。収量性は高いが、耐病性、耐倒伏性がやや劣る。	—

種類名	品種名	対象地域	品種特性	備考
飼料カブ	下総カブ	県一円	食用種に比べ、極めて多収で、肉質は硬く、貯蔵性が高い。耐病性にも優れ、葉も飼料として利用可能。下総カブは根重収量が多い。	—
大麦	ニシノチカラ	県一円	早生で耐倒伏性、耐病性が高い。特に大麦萎縮病、うどんこ病には極めて強い。	—
オーチャードグラス	ボトマック	県一円	多年生の寒地型イネ科牧草で、耐暑性は高く、比較的湿潤で肥沃な土地を好み、肥料に対する反応も敏感である。乾物消化率、成分含量、嗜好性は比較的高いが、開花期以降は、木質化が進み、粗剛になる。	—
	ナツミドリ	県一円		—
アカクローバ	ケンランド	県一円	冷涼でやや湿潤な環境とリン酸、カリウム、石灰に富んだ肥沃な土壌を好むが、わずかな酸性土壌には耐える。耐暑性、耐干性は高くない。暖地では、越年生としての利用となる。生存年限は概して短く、3年前後である。蛋白質、ビタミン、カルシウム等を豊富に含む。	—
シロクローバ	フィア（ニュージーランドホワイト）	県一円	草丈は低く、ほ伏性で、再生力が強い。永続性、環境適応性が高く、放牧草に適する。空気中窒素固定能力が非常に高く、蛋白質を豊富に含む。	—
バヒアグラス	ナンオウ	県一円	採食性が良好な品種で、冬期平均気温が7.5℃以上の地域に適する。草型は中間、稈長はやや短い。葉幅は広く、葉身長及び葉色は中程度で、アントシアニン着色程度は少なく、葉質は柔かい。春の草勢は不良、秋の草勢はやや良。出穂始めは中生、再生草の穂数は少なく、再生性、越冬性及び永続性はやや良、炭そ病抵抗性は高く、乾物率は中程度。	—
アルファルファ	ネオタチワカバ	県一円	草型は直立型で、茎が太く、耐倒伏性が高い。再生力が強く、暖地においては欠株の発生が少なく、永続性が高い。これまでの品種より耐湿性、菌核病、アブラムシ抵抗性に優れる。	—